

令和5年度全国工業高等学校長協会事業計画
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
ホームページ <https://zenkoukyo.or.jp/>

令和5年度 事業計画目次

I	令和5年度 事業計画概要	50
II	協会実施の公益事業	50
	【I】工業教育の普及振興に関する講習、研修、調査研究、資料収集、表彰、競技会、 その他事業	
	1 講習、研修	
	2 調査研究、資料収集	
	3 表彰等事業	
	4 競技会・その他の事業	
	【II】工業教育に関する検定試験の実施、並びにその技能度の登録及び証明書の発行	53
	1 検定	
	2 高等学校工業基礎学力テスト	
	【III】工業教育に関する内外の諸団体との連携及び情報交換	54
	1 関係諸官庁、教育団体、産業界との連携	
	2 陳情活動	
	【IV】その他この法人の目的を達成するために必要な事業	54
	1 助成事業	
	2 附属工業教育研究所事業計画	
	3 その他の事業	
III	協会実施の法人運営	55
	【I】総会、理事会、業務執行理事会、委員会、運営連絡協議会、研究協議会、 代表校長研究協議会等の実施	
	【II】事務局運営	
IV	協会実施の収益事業	56
	【I】検定試験に関する出版物の刊行	
	【II】施設を効率的に活用するための貸室事業	
V	事業計画詳細	56
	【I】第74回総会・研究協議会実施要項	
	【II】第71回研究協議会（高知大会）	
	【III】理事会・業務執行理事会・運営連絡協議会等開催	
	【IV】令和5年度 各地区工業高等学校長会総会・研究協議会	
	【V】代表校長研究協議会	
	【VI】令和5年度 全国工業高等学校長協会主催夏季講習会開催要項	
	【VII】令和5年度 全国工業教育指導者養成講習会実施要項	
	【VIII】第23回高校生海外研修実施要項	
	【IX】令和5年度前期 全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度 実施要項	
	【X】生徒・教職員表彰事業（令和5年度 全工協会表彰規程の概要）	
	【XI】第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会実施要項	
	【XII】全日本ロボット相撲大会2023 開催要項	
	【XIII】令和5年度（第40回）全国製図コンクール実施要項	
	【XIV】第21回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会実施要項	
	【XV】ジャパンマイコンカーラリー全国大会実施要項	

巻末資料

- 資料1 令和5年度 全国工業高等学校長協会 役員（案）
- 資料2 令和5年度 全国工業高等学校長協会 都道府県私学代表校長一覧（案）
- 資料3 令和5年度 全国工業高等学校長協会 名誉会員（案）・顧問（案）
- 資料4 令和5年度 調査研究部委員会名簿（案）、令和5年度 調査研究部 年間活動計画（案）
- 資料5 第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会・ポスター
- 資料6 第33回 全国産業教育フェア福井大会・ポスター（全国高等学校ロボット競技大会 福井大会）
- 資料7 全工協会 令和5年度 年間行事予定
- 資料8 全工協会 令和5年度 組織及び事業概要

I 令和5年度 事業計画概要

わが国の工業教育の普及振興に努めるとともに、工業教育の充実を図るため、資格付与に関わる検定試験の実施とその関連出版物を刊行し、似て、わが国における産業の発展に役立つ工業教育の振興に寄与することを目的として次の事業を運営する。

- [I] 工業教育の普及振興に関する講習、研修、調査研究、資料収集、表彰、競技会、その他事業
- [II] 工業教育に関する検定試験の実施、並びにその技能度の登録及び証明書の発行
- [III] 工業教育に関する内外の諸団体との連携及び情報交換
- [IV] その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- [V] 検定試験に関する出版物の刊行
- [VI] 施設を効率的に活用するための貸室事業

前項[I]から[IV]までの事業は、公益目的事業として本邦及び海外において行うものとする。
なお、公益法人化に伴う文書や規則等の整備を進めるとともに事業の改善を図る。

II 協会実施の公益事業

【I】工業教育の普及振興に関する講習、研修、調査研究、資料収集、表彰、競技会、その他事業

1 講習、研修

(1)教職員の指導力等資質向上を目指した夏季講習会の実施

工業科教員の指導力育成を目指し、各地区における教員の研修機会の充実を図ることを目的として、協会主催による夏季講習会を実施する。講習会にて実施する講習は、産業界や各企業の協力を得て実社会で実践されている技術・技能や、工業教育を推し進める上で大切なものづくりの基本となる技術・技能について行う。

(2)国際社会に羽ばたく将来のものづくり人材育成を目指した生徒海外研修の実施

平成28年度から、生徒の負担軽減と東南アジア諸国と日本の関係が深まっている社会状況等を考慮して事業内容を見直し、訪問国をベトナムとして実施していたが、オリンピックや新型コロナウイルス感染拡大の影響で第20回、21回、22回を中止とした。改めて事業の方向性を再検討し、令和5年度第23回は、生徒の負担軽減と治安も安定しているタイ王国を訪問国として企画している。この海外研修を通して海外で働く上で厳しさや楽しさ、今後の技術者のあるべき姿などを学び、これからの国際化社会に羽ばたく人材育成を目指し、参加生徒を募集する。なお、今年度も、生徒の募集人員が定員に満たない場合は、教員も参加できるようにする。

(3)全国工業教育指導者養成講習会の実施

全国から工業教育に関わる指導力ある教員を募集し、合宿による講習会実施を通して工業教育を牽引すべく指導教員の育成を図る。第12回目となる令和5年度は合計24名の教員を集めて7日間(含前泊)の日程で実施する。

会 場 工業教育会館(全国工業高等学校長協会)

日 時 令和5年7月30日(日)～8月5日(土)

実施要項等詳細は別紙による。

2 調査研究、資料収集

(1)研究協議会

本協会及び会員校における調査・研究の発表の場として、全国の会員が集まり、研究協議を行う。

会場は各地区持ち回りとする。令和5年度は、四国地区が担当する。

会 場 「ザ クラウンパレス新阪急高知」 〒780-8561 高知県高知市本町 4-2-50

開催日 令和5年10月19日(木)～20日(金)

事務局 第71回研究協議会高知大会事務局

高知県立高知工業高等学校長 北村 晋助

(2)4調査委員会

学校経営委員会、進路対策委員会、教育課程委員会、入学対策委員会の4委員会が毎年継続したテーマで実施する悉皆調査に加え、工業教育の今日的課題ともいえる時代に即したテーマによる調査研究を進め、その成果を研究協議会で発表する。

なお、4調査委員会の年間のスケジュールは以下のとおりである。

- ・会員校への調査依頼…………… 5月1日(月)予定
- ・調査回収……………締切6月9日(金)予定
- ・各調査委員会…………… 7月～8月中旬
- ・企画会議…………… 9月29日(金)
- ・発表(研究協議会)…………… 10月19日(木)

1) 学校経営委員会調査項目

- ①工業科教員等の年代別人数に関する調査（都道府県代表校長）
- ②工業科教員等の過員及び欠員に関する調査(都道府県代表校長)
- ③新規採用教員の選考状況に関する調査(都道府県代表校長)
- ④工業高校の施設整備に関する調査(都道府県代表校長)
- ⑤工業科教員の再任用に関する調査(全会員校への悉皆調査)

2) 進路対策委員会調査項目

- ①令和5年3月、全国の全日制工業科設置校を対象とした卒業生に対する進路状況調査を実施する。
- ②令和6年3月、全国の工業科設置校を対象とした卒業予定の進学希望生徒の状況調査
- ③離職率調査については、昨年度と同様、特定の地区を対象に調査を実施する。

3) 教育課程委員会調査項目

- ①教育課程・学科編成について
- ②教育制度・学校改革について
- ③産学連携・地域連携について
- ④学習指導・評価について

4) 入学対策委員会調査項目

- ①学科別応募状況に関する調査
- ②学級数に関する調査
- ③入試制度に関する調査
- ④地域との連携等に関する調査

(3) 事業検討委員会

事業検討委員会規程に基づき、本協会に関わる事業・運営を見直し、公益法人としての改善案等を検討することを目的として平成24年度に発足した。令和5年度も継続して事業改善に向けて検討を継続する。

(4) 工業教育研究所運営

工業教育に係わる調査研究並びに発表。全国工業高等学校長協会として政策等提言に必要な各種データや資料収集を行う。

1) 調査事項

- ①工業高校活性化に関わる調査研究
- ②前年度工業高校卒業生の進路状況調査
- ③その他（工業高校を支援する資料の収集他）

2) 研究資料の収集等

- ①資料の収集と整理・保存
- ②調査研究報告

3) 委員会等開催調整と支援

- ①調査研究部委員会
- ②機関誌「工業教育」編集委員会
- ③全国工業教育指導者養成講習会
- ④高等学校工業基礎学力テスト委員会

4) 教職員夏季講習会企画・運営

5) 要覧校正

6) その他

(5) 広報事業

協会の事業を外部の方知ってもらうために、広報用パンフレット、ホームページ、各種教育資料などを通して、情報発信を行う。

1) 広報用リーフレット等の製作

- ①工業高校の活動を紹介するPR冊子「きらめく工業高校 令和5年度版」の編集・発行
- ②新聞広報等による協会事業の周知とPR活動

2) ホームページ運用管理

- ・ホームページを利用した全国工業高等学校長協会活動状況の広報

3) 全国工業高等学校要覧、全工資料などの各種教育資料の刊行

- ①令和5年度 全国工業高等学校要覧の編集と刊行
- ②機関誌「工業教育」の年4回の刊行と全国工業高等学校長協会会員、賛助会員への頒布

③その他の教育資料及び広報資料の編集と刊行

④全工資料の編集と刊行

(6) 調査研究事業（その他の調査研究活動）

1) 工業高校生の資質能力の向上のため、高等学校工業基礎学力テスト委員会を中心に「工業基礎学力テスト」の作成に取り組む。

2) 評価手法研究委員会

平成 25～27 年度実施 文部科学省委託事業「工業高校生の専門的職業人として必要な資質・能力の評価手法の調査研究」を本協会主催として継続してきたが、令和 3 年度をもって実践研究校の応募は中止した。また、令和 4 年度は、これまで蓄積したノウハウを活かした教員研修の実施やホームページなどを活用した資料提供の環境整備、授業公開等を実施した。令和 5 年度以降は活動を中止する。

3 表彰等事業

(1) ジュニアマイスター顕彰

学習成果を総合的に評価顕彰することで、工業科生徒の学力保証につなげるとともに、生徒の目的意識の明確化と学習意欲の向上を図る。なお、平成 23 年度から導入した電子申請により、安全で迅速な申請作業並びに事務処理が可能となった。申請についての日程は以下を予定している。

1) 前期申請（前期のみブロンズの申請あり）

①前期申請締切……………7月31日(月)必着

②認定委員会の開催……………8月8日(火)

③認定書の送付予定日……………8月中旬以降順次発送

2) 後期申請

①後期申請締切……………1月31日(水)必着

②認定委員会の開催……………2月8日(木)

③認定書の送付予定日……………2月中旬以降順次発送

(2) 生徒・教職員表彰

公益社団法人全国工業高等学校長協会表彰規程に基づき、工業教育の充実・振興について特に実績が顕著であった個人またはグループに対して、原則として都道府県ごとに1件を表彰する。令和 5 年度「生徒・教職員表彰」を実施する。

1) 表彰者

①教職員

②生徒

2) 推薦期日 令和 5 年 12 月 20 日(水)厳守

3) 決 定 令和 6 年 2 月 15 日(木)頃迄に当該高等学校長宛文書をもって通知する。

4 競技会、その他の事業

(1) 第 23 回高校生ものづくりコンテスト全国大会

我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し育成することが急務である。全国工業高等学校長協会では、全国から選抜された高校生が一堂に会し、旋盤作業・自動車整備・電気工事・電子回路組立・化学分析・木材加工・測量など、工業高校生の学習成果発表の場を設けて技術・技能を競い合う「高校生ものづくりコンテスト全国大会」を開催している。平成 23 年度から、全国産業教育フェアとの同時開催から離れ、協会主催事業として単独で開催することとなったため、各地区持ち回りで実施することになった。令和 3 年度からは、上記の 7 部門に加え、溶接を公開競技として実施している。令和 5 年度は、九州地区で開催する。

1) 開催期日 令和 5 年 11 月 11 日(土)～12 日(日)

2) 会 場

①旋盤作業 : 福岡県 福岡職業能力開発促進センター（ポリテクセンター福岡）

②自動車整備 : 福岡県 大原自動車工科大学校

③電気工事 : 佐賀県 佐賀県立鳥栖工業高等学校

④電子回路組立 : 福岡県 福岡県立小倉工業高等学校

⑤化学分析 : 熊本県 熊本県立熊本工業高等学校

⑥木材加工 : 長崎県 大村市中地区公民館

⑦測 量 : 熊本県 熊本県立熊本工業高等学校

⑧溶接(公開競技) : 愛知県 愛知県立愛知総合工科高等学校

- 3) 事務局(担当) 福岡県立福岡工業高等学校 教頭 椿 正城
〒814-8520 福岡県福岡市早良区荒江 2-19-1
電話 092-821-5831 FAX 092-822-5837
- 4) 実行委員長 福岡県立福岡工業高等学校 校長 市川仁士
〒814-8520 福岡県福岡市早良区荒江 2-19-1
電話 092-821-5831 FAX 092-822-5837

(2) 高校生ロボット相撲全国大会 2023 (含む審判講習会・地区大会)

高等学校工業科生徒にロボット作りを通じてものづくり技術の基礎・基本を確実に習得させるとともに、目標達成に向け実際に直面する問題解決能力を養う。また、生徒の学習意欲の向上と自発的・創造的な学習態度の育成を目指す。

全国大会の開催日時・場所は以下を予定している。

- 1) 日 時 令和 5 年 11 月 23 日(木)
2) 会 場 ビッグパレットふくしま (〒963-0115 福島県郡山市南二丁目 52 番地)

(3) ジャパンマイコンカーラリー2024 全国大会

マイコンカーラリー競技を通してメカトロニクス技術の基礎・基本の習得、自発的・創造的な学習態度の育成を図るとともに、ものづくりによる課題解決型教育を推進し、新技術への夢を育む。

- 1) 開催期日 令和 5 年 12 月 27 日(水)～12 月 28 日(木)
2) 会 場 北信越地区 長野県 (会場：長野県松本文化会館(キッセイ文化ホール))

(4) 令和 5 年度 (第 40 回) 全国製図コンクール

手書き製図の重要性に鑑み、各学科の専門分野の製図の基礎的な知識と技術を総合的に習得し、製作図・設計図などを正しく読み、図面の作成能力を向上するため、機械系・電気系の製図コンクールを実施する。コンクールは参加校の校内製図コンクールを経た最優秀作品 1 点を募集し、全国製図コンクールを実施する。

- 1) 実施要項の配付…………… 令和 5 年 4 月 1 日付ホームページに掲載
2) エントリー期間……………9 月 1 日(金)～9 月 30 日(土)
3) 参加校からの最優秀作品応募……………10 月 31 日(火)
4) 発 表……………入賞校宛通知、ホームページ並びに機関誌「工業教育」1 月号にて発表

(5) 第 21 回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会

現代の工業技術の進展に伴い、これからは技術的課題を改善するだけでなく、身に付けた知識、技術及び技能を活用して、ものづくりができる創造的な能力と実践的な態度の育成が求められている。本事業を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な態度を育てる。

- 1) 応募日程 令和 5 年 11 月 1 日(水)～令和 5 年 12 月 26 日(火)
2) 応募資格 全工協会員校の生徒 (個人、グループのいずれでも可)
3) 発 表 令和 6 年 1 月 25 日(木) 該当校に連絡の上、全工協会ホームページにて発表
4) 特 典 入賞作品はジュニアマイスター顕彰制度の得点になる。
5) 応募方法 協会 web ページを参照

(6) 展示会・競技会等への支援

- 1) 文部科学省、福井県主催による「第 33 回全国産業教育フェア」開催に係わる支援
開催期日 令和 5 年 10 月 28 日(土)～29 日(日)
会 場 福井県生活学習館(メイン会場)、福井県産業会館(メイン会場)
- 2) 第 31 回全国高等学校ロボット競技大会への支援
開催期日 令和 5 年 10 月 28 日(土)～29 日(日)
会 場 福井県営体育館
- 3) 各地区工業校長会及び工業教育振興に関わる事業の後援並びに支援

【Ⅱ】工業教育に関する検定試験の実施、並びにその技能度の登録及び証明書の発行

1 検定

- | | | |
|----------------------------|----------|---------------------|
| (1) 第 88 回計算技術検定 (文部科学省後援) | 実施日 | 令和 5 年 6 月 16 日(金) |
| (2) 第 89 回計算技術検定 (文部科学省後援) | 実施日 | 令和 5 年 11 月 17 日(金) |
| (3) 第 54 回機械製図検定 | 1 次試験基準日 | 令和 5 年 6 月 9 日(金) |
| | 2 次試験基準日 | 令和 5 年 6 月 30 日(金) |
| (4) 第 36 回基礎製図検定 | 基準日 | 令和 5 年 9 月 8 日(金) |

(5)第70回情報技術検定(文部科学省後援)	実施日	令和5年6月23日(金)
(6)第71回情報技術検定(文部科学省後援)	実施日	令和6年1月19日(金)
(7)第29回リスニング英語検定	基準日	令和5年10月13日(金)
(8)第28回グラフィックデザイン検定	基準日	令和6年1月19日(金)
(9)第45回パソコン利用技術検定	基準日	令和5年7月14日(金)
(10)第46回パソコン利用技術検定	基準日	令和5年12月8日(金)
(11)第23回初級CAD検定	基準日	令和5年7月14日(金)

2 高等学校工業基礎学力テスト

本協会が実施する10分野・科目の基礎学力テスト(令和5年度は工業情報数理を試行予定)は、工業教育の質の確保・向上の観点から、生徒の基礎学力の習得と学習意欲の向上を図るとともに、客観的でより広い視野から自校生徒の基礎学力の定着度合いを把握し指導の工夫・充実に資することを目的とした事業である。

(1)実施日時 令和6年2月2日(金) (実施:各校内)

(2)実施教科名

- 1) 工業情報数理(試行予定)
- 2) 機械(機械工作、機械設計、機械製図)
- 3) 電気(電気回路、工業情報数理)
- 4) 建築(建築構造設計、建築構造、建築計画、建築製図)
- 5) 土木(土木基礎力学、測量、土木製図、土木施工)
- 6) 化学(工業化学、化学工学、地球環境化学)
- 7) 繊維(繊維製品)
- 8) 材料(工業材料、材料加工)
- 9) 設備(空調設備、衛生・防災設備、設備計画)
- 10) デザイン(デザイン技術、デザイン材料、デザイン製図、デザイン史、工業情報数理)

【Ⅲ】工業教育に関する内外の諸団体との連携及び情報交換

1 関係諸官庁、教育団体、産業界との連携

国・各省庁等関係諸団体との連絡調整及び要請行動、産業教育の充実・振興のための積極的な取組と活動を行う。また、産業教育振興中央会との連携、専門高校に係わる課題解決等の協議会等開催、活動の推進を図る。

2 陳情活動

- (1)大学への推薦拡大及び特別選考についての要請活動(各県毎)
- (2)就職先拡大を働きかけるための各企業や関係団体との連携(各県毎)
- (3)職業教育充実のための要請活動

【Ⅳ】その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1 助成事業

- (1)工業教育推進事業
 - 1)各都道府県工業校長会への工業教育推進事業活動への助成、その他工業教育の振興を目的とした諸関係団体への事業の充実・発展に向けた活動に対する助成をする・・・5,000万円(予定)
 - 2)第31回全国高等学校ロボット競技大会(福井大会)への助成・・・300万円
(次年度開催地区準備金100万、開催年度担当地区200万)
 - 3)産業教育フェア工業高校関連部門への補助・・・190万円
- (2)傘下学科別研究団体(31団体)への助成事業・・・155万円
- (3)各地区工業校長会研究協議会への研究助成並びに特別助成事業
 - 1)各地区工業校長会研究協議会への研究助成 1地区20万円(9地区、私学)・・・200万円
 - 2)各地区工業校長会研究協議会への特別助成 1地区10万円(9地区)・・・90万円
 - 3)第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会・・・700万円
(開催地:九州地区、次年度開催地区準備金100万、開催年度担当地区600万)
- (4)研究協議会開催県への助成
 - 1)第71回研究協議会(高知大会)への助成・・・200万円
 - 2)第71回研究協議会(高知大会)での理事会への助成・・・10万円

2 付属工業教育研究所事業計画

- (1) 調査事項
 - 1) 工業高校活性化に関わる調査研究
 - 2) 令和4年度教育課程調査及び分析
 - 3) 令和5年度工業高校生の国家資格取得状況の調査
 - 4) 令和5年度理工系大学推薦入学状況進学調査
 - 5) その他（工業高校を支援する資料の収集他）
- (2) 研究資料の収集等
 - 1) 資料の収集
 - 2) 資料文書等の整理・保存
- (3) 研究報告
 - 1) 機関誌「工業教育」への発表
 - 2) 国家資格調査、工業科目履修調査、理工科系大学進学推薦入学状況調査等の報告
 - 3) 調査研究報告 第32号発行
 - 4) 各教育研究会報告書の取りまとめ（報告書発行）
 - 5) その他
- (4) 調査研究部委員会への協力（4調査委員会との連携）
 - ・進路対策委員会
 - ・教育課程委員会
 - ・学校経営委員会
 - ・入学対策委員会
- (5) 調査研究部企画会議の開催（令和5年9月29日（金））
- (6) 特設委員会等への協力（リーフレット編集等）
- (7) 夏季講習会企画
- (8) 要覧編集への協力
- (9) 機関誌編集への協力
- (10) 工業教育指導者養成講習会委員会との企画・運営・実施・連携
- (11) その他
 - 1) 協会・研究所所有図書を整備、デジタル化の研究及び対応
 - 2) 工業教育研究所業務関係記録
 - 3) 外部からの調査研究活動への援助
 - 4) 本協会行事への参加
 - 5) 情報収集活動
 - 6) 令和5年度事業報告の作成
 - 7) 付属工業教育研究所の歩みの整理
 - 8) その他

3 その他の事業

- (1) 公益法人に関係した取組
未整備あるいは見直す必要のある規定等を整備する。
- (2) 施設貸与
公益事業の一貫として、全国工業高等学校長協会傘下の各研究団体並びに工業教育の振興を目的とする関係団体に対して、会議室・ホールを無料または実費相当にて貸与する。
 - ・工業教育会館2階 視聴覚室ホール(定員100～150名)
 - ・工業教育会館5階 第1～第4会議室(定員18名～26名)

Ⅲ 協会実施の法人運営

【I】 総会、理事会、業務執行理事会、委員会、運営連絡協議会、研究協議会、代表校長研究協議会等の実施

- 1 総会、理事会、業務執行理事会、委員会、運営連絡協議会等
 - (1) 事業計画、事業報告書の作成
 - (2) 収支計算書、収支予算書の作成
 - (3) 総会企画と実施
 - (4) 理事会、業務執行理事会の企画と実施

- (5) 各種委員会の企画と実施
- (6) 運営連絡協議会の企画と実施
- (7) 研究協議会の企画と実施
- (8) 代表校長研究協議会の企画と実施
- (9) その他
- 2 事業監査、会計監査、財産目録監査の実施
 - (1) 令和4年度の事業、会計、財産目録の監査・・・・・・・・・・ 令和5年5月1日(月)
 - (2) 令和5年度上期監査・・・・・・・・・・ 令和5年11月中旬

【II】事務局運営

- 1 事務局運営業務
 - (1) 法人会員募集・会費徴収等の事務
 - (2) 総会開催等の運営業務
 - (3) 各種委員会開催事務
 - (4) 税務、社会保険関係書類の作成
 - (5) 法人登記並びに資産管理等の業務
 - (6) 公益法人法に基づく会計処理業務
 - (7) 工業教育会館収益事業（テナント）に係わる管理業務
 - (8) 事務局及び工業教育会館の維持・管理（維持に必要な修理等）
 - (9) ホームページの更新等の運営管理
 - (10) インターネット施設の運営管理
 - (11) 調査・申請等、事務局・研究所業務のICT化推進
- 2 その他この法人の目的達成のために必要な業務

IV 協会実施の収益事業

【I】検定試験に関する出版物の刊行

- 1 検定問題集製作発刊
- 2 検定問題集の販売

【II】施設を効率的に活用するための貸室事業

- 1 工業教育会館テナント階（6F～9F）の運用と維持管理業務

V 事業計画詳細

【I】第74回総会・研究協議会実施要項

日 時 令和5年5月16日(火)10:00～17:00

場 所 日本工学院専門学校・蒲田キャンパス 片柳記念ホール（大講義室）

〒144-8650 東京都太田区西蒲田 5-23-22) TEL 03-3732-1111

- I 開 会 式（10時00分～10時50分） 進行：事務局長
 - 1 開 式 の 挨 拶
 - 2 国 歌 斉 唱
 - 3 理 事 長 挨 拶
 - 4 来 賓 祝 辞
 - 5 来 賓 紹 介
 - 6 物故者に対する黙祷
 - 7 叙 勲 者 の 紹 介（令和4年度）
 - 8 新名誉会員の紹介並びに退職役員に対する記念品贈呈
 - 9 閉 式 の 挨 拶
- II 総 会（11時00分～12時30分）
 - 1 開 会 宣 言
 - 2 議 長 選 出（定款第15条により議長は理事長が行う）
 - 3 議 事
 - 4 報 告 事 項

【昼 食】 (12時30分～13時30分)

Ⅲ 研究協議会 (13時30分～15時00分)

1 基調発表 (1)

「都立工業高校改革について」

東京都立中野工科高等学校 統括校長 守屋 文俊 氏

2 基調発表 (2)

「新学習指導要領－実施初年度を振り返って」

柏木 崇 氏 (株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー

VIEW next 編集部 統括責任者 『VIEW next』 高校版 編集長)

3 質疑応答

Ⅳ 講演 (15時15分～16時45分)

1 講師紹介

2 演 題: 「日本のものづくりの未来のために～中小企業の技術伝承～」 (仮)

講師: 鬼塚 睦子 氏 (株式会社鬼塚硝子 代表取締役社長)

3 謝 辞

Ⅴ 閉会の挨拶等 (16時45分～17時00分)

【Ⅱ】第71回研究協議会 (高知大会)

テーマ「包摂的かつ持続可能な社会を創造する新たな時代の工業教育を目指して」

期 間: 令和5年10月19日(木)～20日(金)

会 場: 「ザ クラウンパレス新阪急高知」

〒780-8561 高知県高知市本町4-2-50 土佐電気鉄道 高知城電停南側

TEL 088-873-1111

大会事務局: 高知県立高知工業高等学校長 北村 晋助

〒781-8010 高知市棧橋通2丁目11番6号

TEL 088-831-9171

第1日目 10月19日(木) 13:00～17:00

1 開会行事

(1)開会の辞

(2)国歌斉唱

(3)理事長挨拶

(4)大会会長挨拶

(5)来賓祝辞

(6)閉会の辞

2 文部科学省講話等

3 研究協議 (その1)

(1)調査研究部報告

(2)各種委員会報告

第2日目 10月20日(金) 9:00～15:00

4 講演

(1)講師紹介

(2)講演 演題 「未定」

講師 株式会社技研製作所 代表取締役社長 森部 慎之助 氏

5 研究協議 (その2) (※前年度・次年度開催地区を除く6地区から発表)

地区提案協議Ⅰ (北海道地区、東北地区、関東地区)

6 研究協議 (その3)

地区提案協議Ⅱ (関西地区、中国地区、九州地区)

7 閉会行事

(1)開会の辞

(2)理事長挨拶

(3)本年度開催地区代表挨拶並びに次年度開催地区の指名

- (4)次年度開催地区代表挨拶（東海地区）
 (5)会員代表挨拶
 (6)閉会の辞

【Ⅲ】理事会・業務執行理事会・運営連絡協議会等開催

- 1 業務執行理事会：年間8回程度、工業教育会館にて開催する。
 2 理事会
 (1)第436回理事会：工業教育会館（ハイブリッド会議） 令和5年5月1日（月）
 (2)第437回理事会：工業教育会館（ハイブリッド会議） 令和5年5月16日（火）
 (3)第438回理事会：工業教育会館（ハイブリッド会議） 令和5年7月28日（金）
 (4)第439回理事会（研究協議会）：ザクラウンパレス新阪急高知 令和5年10月19日（木）
 (5)第440回関西理事会：近畿地区：（場所未定） 令和5年12月1日（金）
 (6)第441回理事会：工業教育会館 令和6年2月2日（金）
 3 運営連絡協議会（第1回）：工業教育会館 令和5年9月15日（金）
 （第2回）：工業教育会館 令和6年2月9日（金）

【Ⅳ】令和5年度各地区工業高等学校長会総会・研究協議会

No.	地区名	会議名	期日	会場名 住所	主管（事務局）
1	北海道	校長会総会 研究協議会	9月20日(水)	ホテルライフオーソ札幌 札幌市中央区南10条西1-1-30	北海道函館工業高等学校 北海道函館市川原町5-13
		工業教育 研究大会	9月19日(火)	同上	同上
2	東北	校長会総会 研究協議会	9月7日(木)～8日(金)	ホテルニューカリーナ 岩手県盛岡市菜園2丁目3-7	岩手県立盛岡工業高等学校 岩手県盛岡市羽場18地割11-1
		工業教育 研究大会	同上	同上	同上
3	関東	校長会総会 研究協議会	8月16日(水)～ 17日(木)	工業教育会館 東京都千代田区飯田橋2-8-1	千葉県立千葉工業高等学校 千葉県千葉市中央区今井町1478
		工業教育 研究大会	11月24日(金)	関東学院大学関内キャンパス 神奈川県横浜市中区万代町1-1	神奈川県立横須工業高等学校 神奈川県横須賀市公郷4-10
4	北信越	校長会総会 研究協議会	8月2日(水)～3日(木)	ホテル信濃路 長野市中御所岡田町131-4	長野県長野工業高等学校 長野県長野市差出南3-9-1
		工業教育 研究大会	同上	同上	同上
5	東海	校長会総会 研究協議会	7月26日(水)	ルブラ王山 名古屋市千種区覚王山通8-18	愛知県立一宮工科高等学校 愛知県一宮市千秋町佐野字辻田 2112
		工業教育 研究大会	同上	同上	同上
6	近畿	校長会総会 研究協議会	8月7日(月)～8日(火)	ホテルアウィーナ大阪 大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12	大阪府立城東工科高等学校 大阪府東大阪市西鴻池町 2-5-33
		工業教育 研究大会	同上	同上	同上
7	中国	校長会総会 研究協議会	7月26日(水)	シーモールパレス 山口県下関市竹崎町4-4-8	山口県立下関工科高等学校 山口県下関市富任町4-1-1
		工業教育 研究大会	7月26日(水)～ 27日(木)	シーモールパレス、海峡メッセ下関 山口県下関市豊前田町3-3-1	同上

8	四国	校長会総会 研究協議会	8月17日(木)	徳島県立徳島科学技術高等学校 徳島県徳島市北矢三町 2-1-1	徳島県立徳島科学技術高等学校 徳島県徳島市北矢三町 2-1-1
		工業教育 研究大会	8月18日(金)	(ハイブリッド開催) 徳島県関係者 会場参集 四国他県関係者 WEB参加	徳島県立つるぎ高等学校 徳島県美馬郡つるぎ町貞光馬出 63-2
9	九州	校長会総会 研究協議会	8月7日(月)～8日(火)	トキハ会館 大分県大分市府内町 2-1-4	大分県立日田林工高等学校 大分県日田市吹上町 30
		工業教育 研究大会	7月25日(火)～ 26日(水)	アルカス SASEBO 長崎県佐世保市三浦町 2-3	長崎県立佐世保工業高等学校 長崎県佐世保市瀬戸越 3-3-30

【V】代表校長研究協議会

- 1 代表校長研究協議会を年間2回開催する。
- 2 日程等
 - (1) 第1回令和5年5月15日(月) 14時30分～17時00分
工業教育会館
(総会・研究協議会、第431回理事会と同時開催とする。)
協議内容
①全工協会の令和5年度「方針と計画」について
②工業教育の活性化について
③都道府県からの情報交換
 - (2) 第2回：令和6年2月2日(金) 15時00分～17時00分
工業教育会館
協議内容
①全工協会の令和6年度「方針と計画」について
②工業教育の活性化について
③都道府県からの情報交換

【VI】令和5年度 全国工業高等学校長協会主催夏季講習会開催要項

- 1 目的 工業系高等学校の教職員が最新の技術の習得を目指し、生徒の学習指導充実に資する。
- 2 受講資格 本協会会員校教職員で当該学校長の推薦する者
- 3 資料代 講習会一覧表の当該欄を参照
- 4 開催場所 別紙に掲載した各協賛会社(学校を含む)指定の施設等
- 5 実施要項

〔受講の申し込み〕

- ①全工協会は講習を実施していただく企業(学校・専門学校・大学を含む、以下協賛会社等と記す)より、講習の内容とスケジュール等の連絡を受け、会員校に周知する。
- ②会員校の教職員は、全工協会のホームページより応募手続きを行い、6月21日(水)までに学校長がWeb承認を行うことにより全工協会に受講希望者として登録され、申し込み完了となる。
- ③申し込みは必ず全工協会のホームページの学校ポータルから行うこと。
- ④教職員が応募手続きを行っても、学校長がWeb上で承認を行わないと申し込みとはならない。

〔受講者の決定〕

- ⑤申し込みを受けた全工協会は、申込者数が定員を超えた講習会について、事業部に所属する委員で組織した選考委員会により受講者を決定する。
- ⑥受講者の決定は、同一校から複数の希望者の有無・年齢・経験年数・その他種々の条件を勘案して行う。
- ⑦受講者が決定次第、その可否を申込者全員に通知する。(学校長宛てにまとめて送付)
- ⑧受講決定後は申込者の都合による受講取消ができないので、計画的に応募すること。

〔協賛会社等への連絡〕

- ⑨講習会毎に参加者名簿を作成し、協賛会社等へ送付する。協賛会社等が受講者と直接連絡を予定している場合はこれに基づいて行う。

〔受講者への連絡〕

- ⑩受講者には、協賛会社等から直接連絡がある場合と、全工協会から連絡する場合の2通りある。受講者に対し講習会参加のための具体的な連絡(会場までの交通・持参品等)を行う。
- ⑪注意：上記のように、一旦決定した参加者は参加者名簿に登載され各方面に配布されるため、事後に取消・訂正等が生じた場合、事務作業に齟齬をきたす恐れがあるので、申込みは計画的に行うこと。
- ⑫講習会最終日には講習会の全日程を受講した者に修了証書を発行する。

〔諸経費について〕

- ⑬講習会に要する実際の経費は、全て協賛会社等のご負担による。
- ⑭資料代等は講習会毎に異なるので、一覧表の当該欄を参照のこと。
- ⑮資料代が有料の講習会については、協賛会社等から事前に振込の連絡が無い限り当日に講習会場にて現金で納入する。

【Ⅶ】令和5年度 全国工業教育指導者養成講習会実施要項

- 1 主催者 公益社団法人 全国工業高等学校長協会(以下、全工協会という)
- 2 目的 現状を改革し、将来の工業教育を創造できる指導者を育成する。
- 3 内容 講義、グループ討議、実地見学等を通して工業教育に関する内容を研修する。
- 4 後援 公益財団法人 産業教育振興中央会
- 5 期間 令和5年7月30日(日)～8月5日(土)の7日間
- 6 日程 研修日程(原則下記の通り)
 - (1) ① 9:00～10:30(休憩10:30～11:00)
 - ② 11:00～12:30(休憩12:30～13:30)
 - ③ 13:30～15:00(休憩15:00～15:30)
 - ④ 15:30～17:00(質疑17:00～17:30)
- (2) 実地見学 埼玉県担当
- (3) 講師については社会の動向等により変更することもある。
- 7 対象者 以下の資質等を備えた各地区工業高等学校長会から推薦された者(参加者の資質等)
 - (1) 全工協会の会員校の教諭で原則として32歳以上で6年以上の教職経験を有し40代半ばまでの者。
 - (2) 工業教育に熱心で、講習会の研修すべてに参加できる気力と体力を有する者。
 - (3) 工業系に属し、工業教育を牽引できる指導者としてふさわしい者。
- 8 参加人数 全国9ブロック代表24名
- 9 会場 工業教育会館
- 10 費用 宿泊費、所属校からの交通費、研修費は全工協会が負担。食事代は自己負担。
- 11 宿泊場所 京王プレッソイン九段下(朝食は軽食のみ) TEL 03-3511-0202
- 12 研修報告 受講者は研修後、報告書を速やかに作成し都道府県工業校長会に提出するとともに、各都道府県等にて必ず報告会を実施すること。
- 13 参加締切 各地区から推薦を受けた受講者は、所属校長の承諾を受けた後、令和5年5月19日(金)必着で全工協会へ受講申込書(別紙様式：別添)を提出すること。
- 14 その他 受講者は参加時に定められた課題レポート(様式1)を7月1日(土)までにE-mailにて提出すること。
送付先：gotoh@zenkoukyo.or.jp
- 15 受講申込書提出先・問い合わせ先
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1 公益社団法人全国工業高等学校長協会付属工業教育研究所
Tel 03-3261-1500 Fax 03-3261-2635 後藤 博史

【Ⅷ】第23回高校生海外研修実施要項

- 1 目的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚を身に付ける教育が求められている。このような社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として海外研修を実施する。
- 2 期 日 令和5年7月22日(土)～7月29日(土)の8日間
- 3 研修地 タイ王国
- 4 研修内容 現地学生との交流、学校見学、企業見学、文化遺産・史跡の観光等
- 5 宿 泊 ホテル (Center Point Silom Hotel)
- 6 経 費
 - (1)自己負担
参加費 5万円
①自宅と羽田空港間の交通費、パスポート申請料、燃油サーチャージ、空港使用料、空港税、任意の海外保険等は自己負担とする。
 - (2)補 助
①国際線の航空運賃及び現地の交通費、宿泊費、食費等は、全工協会が補助する。
②遠方からの参加者には羽田空港までの往路に関わる交通費の一部を全工協会が補助する。
- 7 参加条件：次の(1)～(3)をすべて満たす生徒
 - (1)全工協会の会員校に所属し、学業・人物ともに優秀で、所属校長と地区代表校長の推薦する生徒
 - (2)他の海外研修等に参加した経験のない生徒(修学旅行を除く)
 - (3)国際的な感覚を身に付け、今後の学校生活に意欲をもって取り組める生徒
- 8 参加人員 25名(生徒22名、引率3名)

<9地区ブロックの生徒推薦枠>

北海道1、東北3、関東4、北信越2、東海3、近畿3、中国2、四国1、九州3

引率は全工協会から委嘱する。

- 9 推薦手順
参加希望者は様式1「第23回高校生海外研修・参加申込書」及び様式2「第23回高校生海外研修・参加理由書」(A4用紙800字程度)を所属校長へ提出する。
所属校長は地区代表校長の推薦を得て書類を全工協会へ提出する。
※様式1及び様式2は本協会ホームページからダウンロードする。
- 10 応募締切 **令和5年5月19日(金) 厳守(消印有効)**
 - ①なお、新型コロナ感染状況等により、計画が変更、中止になる場合もあります。<応募書類提出先・問い合わせ先>
公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局次長 湯澤 修一
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500 yuzawa@zenkoukyo.or.jp

◇第23回高校生海外研修における教員参加の実施要項

生徒海外研修実施要項の項目「1～6、10」を準用し、「7～9」は、次のとおりとする。

- 7 応募条件 会員校の教員(校長の推薦する者)
- 8 募集人員 若干名
教員枠は、参加生徒数が定員に満たない場合に、定員(22名)から生徒数を引いた数とする。ただし、生徒の定員が満たされた場合は、教員枠は「0」とする。
- 9 応募手順
 - (1)参加希望者は、様式1「第23回高校生海外研修・参加申込書」及び様式2「第23回高校生海外研修・参加理由書」を作成し、所属校長を通して全工協会へ提出する。
 - (2)書類作成
様式1及び様式2は、本協会ホームページよりダウンロードする。
保護者氏名・学年等の不必要な箇所は空欄とし、「生徒氏名」は「教員氏名」とする。
 - (3)決定通知
校長から推薦された候補者を国際化事業推進委員会で選考して、所属校長へ通知する。

※その他

- (1) 現地では引率者の指示に従い、生徒と同じ日程で行動する。
 (2) 帰国後、各自報告書(全工協会指定の形式)を提出する。

<応募書類提出先・問い合わせ先>

公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局次長 湯澤 修一
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
 TEL 03-3261-1500 yuzawa@zenkoukyo.or.jp

第23回高校生海外研修日程表(案)

※時間や内容は、現地の状況等によって変更する場合があります。

	月日	曜日	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	行動予定・宿泊	食事
1	7/22	土	結団式会場着 (工業教育会館)	午後	各自 専用車	前日集合 健康観察・結団式・事前研修 専用バスで 〈羽田空港のホテル泊〉	夕食
2	7/23	日	羽田ホテル発 羽田空港発 バンコク着	08:00 11:15 15:40	専用車 JL-031 専用車	羽田空港国際ターミナルへ 出国手続き、バンコクへ 入国手続き 専用車にて夕食会場へ 〈ホテル泊〉	朝食 機内 夕食
3	7/24	月	バンコク ホテル着	終日	専用車	バンコク市内観光 (王宮、水上遊覧、 ワットポー、ワットアルン、 エメラルド寺院) 〈ホテル泊〉	朝食 昼食 夕食
4	7/25	火	バンコク ホテル着	午前 午後	専用車	泰日工業大学訪問 授業参加 実習施設等見学 タイ学生との文化交流 〈ホテル泊〉	朝食 昼食 夕食
5	7/26	水	バンコク ホテル着	午前 午後	専用車	日系企業トヨタバンポー工場 見学 チャチュンサオ観光 (ワットゾーン、100年市場、 ピンクガネーシャ) 〈ホテル泊〉	朝食 昼食 夕食
6	7/27	木	バンコク ホテル着	午前 午後	専用車	日系企業 DENSO LASI TC 見学 アユタヤ観光(日本人町跡、 ワットブラシーサンペット、 ワットマハタート他) 〈ホテル泊〉	朝食 昼食 夕食
7	7/28	金	バンコク バンコク発	午前 午後 21:55	専用車 JL-034	バンコク郊外観光(水上市場、 メークローン線路市場) バンコク市内観光(ワットパ クナム、バイヨークスカイビル) 出国手続き、羽田空港へ 〈機中泊〉	朝食 昼食 夕食
8	7/29	土	羽田空港着	06:10 07:00 08:00		帰国 入国手続き 事務連絡、解散	機内

【IX】令和5年度前期 全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度 実施要項
(前期申請は6月、後期申請は12月発表予定)

【X】生徒・教職員表彰事業（令和5年度 全工協会表彰規程の概要）

成績が顕著であったと推薦された個人またはグループに対して、顕彰委員会が審査し表彰する。

- (1) 教職員表彰
 都道府県推薦 47件以内、表彰状のみ
 推薦期限 令和5年12月20日(水)
 表 彰 令和6年2月15日(木) 予定
- (2) 生徒表彰
 都道府県推薦 47件以内、表彰状、記念品(楯)
 推薦期限 令和5年12月20日(水)
 表 彰 令和6年2月15日(木) 予定

	教 職 員 表 彰	生 徒 表 彰
対 象	普通科・専門科を問わず、全ての教員、事務職員、技術職員の個人またはグループ	生徒の個人またはグループ
内 容	指導法の改善、教材教具開発などの教科指導、クラブ指導、課外指導特別活動、生活指導、進路指導、施設の充実整備などでの顕著な功績等	学習上の研究、発明、発見、工夫改善、製作、工業技術に関連のあるクラブ活動などで資格取得、全国コンクール優勝など顕著な実績等
推薦経路	当該校長 → 都道府県代表校長 → 理事長	同 左
推薦期限	令和5年12月20日(水)	同 左
表彰連絡	令和6年2月15日(木)までに推薦経路の逆コースで文書にて連絡 (以後毎年2月15日(木)までに連絡)	同 左
表彰方法	当該学校で卒業式など適当な時期に行う	同 左
表 彰	表彰状のみ	表彰状と記念品(楯)
表彰件数	各都道府県で1件	同 左
その他	① 本規程は平成元年4月1日より適用 ② 教職員表彰規程の一部を平成15年5月27日改正 ③ 詳細は「本協会表彰規程」参照	

【X I】第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会実施要項

1 趣 旨

近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。

公益社団法人全国工業高等学校長協会では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習効果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、過去21回実施した。

第12回大会より全国9地区を廻っての開催となり、今回は九州地区において、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測定の7部門で実施する。また、公開競技の溶接部門を東海地区で実施する。

2 日 程

- (1) 令和5年11月11日(土)
- 9時00分 関係者集合
 - 9時30分 会場等準備
 - 12時00分 受付
 - 12時30分 部門ごと打ち合わせ(説明・練習作業等)
 - 15時00分 来賓・審査員受付
 - 16時00分 開会式
 - 17時00分 解散

- (2) 令和5年11月12日(日)
 8時00分 関係者集合
 8時20分 受付
 9時00分 競技開始
 11時30分 競技終了、片付け、昼食
 14時30分 閉会式、記念撮影
 15時30分 解散、後片付け

3 会場

- (1) 開・閉会式 各競技会場
 (2) 競技会場

部門	会場
旋盤作業	福岡県 福岡職業能力開発促進センター(ポリテクセンター福岡) 〒806-0049 福岡県北九州市八幡西区穴生3-5-1 TEL 093-641-4906
自動車整備	福岡県 大原自動車工科大学校 〒805-0023 福岡県北九州市八幡東区宮の町1-1-1 TEL 093-651-5500
電気工事	佐賀県 佐賀県立鳥栖工業高等学校 〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1918 TEL 0942-83-4134
電子回路組立	福岡県 福岡県立小倉工業高等学校 〒803-0825 福岡県北九州市小倉北区白萩町6-1 TEL 093-571-1738
化学分析	熊本県 熊本県立熊本工業高等学校 〒862-0953 熊本県熊本市中央区上京塚町5-1 TEL 096-383-2105
木材加工	長崎県 大村市中地区公民館 〒856-0817 長崎県大村市古賀島町133-31 TEL 0957-53-1376
測量	熊本県 熊本県立熊本工業高等学校 〒862-0953 熊本県熊本市中央区上京塚町5-1 TEL 096-383-2105

(3) 公開競技会場

溶接	愛知県 愛知県立愛知総合工科高等学校 〒464-0808 愛知県名古屋千種区星が丘山手107 TEL 052-788-2020
----	--

- 4 主催 公益社団法人全国工業高等学校長協会
 5 主管 九州地区工業高等学校長協会
 6 共催 福岡県教育委員会 佐賀県教育委員会 長崎県教育委員会 熊本県教育委員会 大分県教育委員会 宮崎県教育委員会 鹿児島県教育委員会 沖縄県教育委員会 愛知県教育委員会(申請中、順不同)
 7 後援 文部科学省 経済産業省 厚生労働省 国土交通省 農林水産省(公財)産業教育振興中央会(公財)日本自動車教育振興財団 中央職業能力開発協会(一社)日本溶接協会(申請中、順不同)

8 参加資格

- (1) 全工協会会員校に在籍し、卒業後の進路先を報告できる生徒とする。
 (2) 次の保険に加入していること。
 ① 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済
 ② 産業教育振興中央会賠償責任保険
 ③ 産業教育振興中央会傷害保険
 ※ただし、②③の費用については主催者が負担する。

9 競技部門及び生徒

- (1) 競技部門及び出場選手数

部門	出場選手数		
	各地区選出	開催地選出	計
旋盤作業	9	1	10
自動車整備	9	1	10
電気工事	9	1	10
電子回路組立	9	1	10
化学分析	9	1	10
木材加工	9	1	10
測量	27(9組)	3(1組)	30(10組)
合計	81名	9名	90名

(2) 出場者の決定

- ① 出場者は、全工協会が組織する全国9地区及び開催地の校長会から推薦された生徒とする。の選出方法は、該当校長会に一任する。
 ② 各地区及び開催地から推薦できる出場者を、令和5年9月15日(金)までに、所定の用紙を用いて実行委員長まで報告すること。

(3) 公開競技及び出場選手数

部 門	出場選手数		
	各地区選出	開催地選出	計
溶 接	9	1	10
合 計	9名	1名	10名

10 表 彰

- (1) 各賞
表彰は部門ごとに表彰するものとし、全工協会理事長賞を授与する。
ただし、各省庁、(公財)産業教育振興中央会については申請中。(公開競技は除く)
また、各部門第1位から第3位までは評価結果を公表し表彰する。それ以外は総合点だけ公表する。
- (2) ジュニアマイスター顕彰制度の得点対象
各部門第1位から第3位は、ジュニアマイスター顕彰制度の得点として申請することができる。
ただし、溶接部門は公開競技のため除く。
- (3) 各部門第4位以下については、敢闘賞を授与する。
- (4) 公開競技については、全工協会理事長賞等を授与する。

11 審 査

- (1) 審査基準の策定と公表
 - ① 審査基準は、事前に策定し公表する。ただし、自動車整備部門は除く。
 - ② 審査員は、審査基準にしたがい審査判定する。
 - ③ 同点の場合の優先順位は、あらかじめ協議しておく。
- (2) 審査員
審査員は、企業の技術者、学識経験者などに委嘱するものとし各部門3名を基本とする。

12 費 用

- (1) 大会参加費無料
- (2) 補助金
 - ① 交通費 一定の割合額を補助する。
 - ② 宿泊費 一定額を補助する。
 - ③ 引率教員への補助はしない。

13 競技規定

- (1) 各競技とも課題に併記する。
- (2) 全工協会の Web ページに掲載する。

14 その他

宿泊場所は、各自で予約する。

15 問合せ

- (1) 公益社団法人 全国工業高等学校長協会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1
TEL 03-3261-1500 FAX 03-3261-2635
- (2) 実行委員長 福岡県立福岡工業高等学校 校長 市川仁士
〒814-8520 福岡県福岡市早良区荒江2-19-1
TEL 092-821-5831 FAX 092-822-5837
URL <http://fths.fku.ed.jp/Default2.aspx> E-mail ichikawa-h@fku.ed.jp
- (3) 事務局担当 福岡県立福岡工業高等学校 教頭 椿 正城
〒814-8520 福岡県福岡市早良区荒江2-19-1
TEL 092-821-5831 FAX 092-822-5837
URL <http://fths.fku.ed.jp/Default2.aspx> E-mail tubaki@fku.ed.jp

【課題に関する問い合わせについて】

- (1) 課題に関する問い合わせは、質問内容に齟齬をきたさないため、所定の様式を用いて E-mail の添付ファイル(PDF形式)でお願いします。なお、メールの送信先及び問い合わせ文書様式は、全工協会の Web ページに掲載します。
- (2) 問い合わせに対する回答は、質問校名を記載の上、Q & A の形式で Web ページに掲載します。
- (3) 全工協会事務局への課題に関する問い合わせはご遠慮ください。

【XII】全日本ロボット相撲大会 2023 開催要項

1 趣 旨

高等学校生徒並びに大学等の学生、一般社会人に、ロボット作りを通じて技術の基礎・基本を確実に習得させるとともに、技術研究の目標と実際に問題解決する体験の機会を与え、もって生徒・学生等の学習意欲の向上と自発的、創造的な学習態度の育成に資する。併せて新技術への関心と夢を育み、ロボット技術の向上を目指す。

- 2 「高校生ロボット相撲全国大会 2023」(決勝大会)
- (1) 主 催：公益社団法人全国工業高等学校長協会
 - (2) 後 援(申請予定)：
 - 文部科学省、経済産業省、公益財団法人産業教育振興中央会、
 - (3) 協 賛：富士ソフト株式会社
 - (4) 開催日：令和5年11月23日(木)
 - (5) 会 場：ビッグパレットふくしま、福島県郡山市
 - (6) 参加者：自立型、ラジコン型とも各都道府県より選出された代表者
 - (7) 表 彰：賞状 文部科学大臣賞(予定)、経済産業大臣賞(予定)、
 - 公益財団法人産業教育振興中央会会長賞(予定)、
 - 公益社団法人全国工業高等学校長協会理事長賞
 副賞：富士ソフト株式会社賞

【XⅢ】令和5年度(第40回)全国製図コンクール実施要項

- 1 名 称：全国製図コンクール
- 2 目 的：各学科の専門分野の製図に関する基礎的な知識と技術を総合的に修得し、製作図・設計図などを正しく読み、作成する能力を向上させるために、課題を与えて全国的なコンクールを実施し、設計製図に対する学習の励みとする。
- 3 主 催：公益社団法人 全国工業高等学校長協会
- 4 内 容：コンクールは校内製図コンクール、全国製図コンクールからなる。
 - [校内製図コンクール]
 - 1)本コンクールの主なねらいは校内製図コンクールにあるので、必ず実施すること。
 - 2)校内で佳作3点、優秀賞3点を審査し(校内製図コンクール参加者が20名以下の場合は優秀賞1点のみ)、優秀賞の中から最優秀賞候補作品1点を主催者に応募する。
 - 3)最優秀賞の審査は主催者が行うこととする。
 - 4)主催者によって最優秀賞と認められた場合、最優秀賞が優秀賞より優先される。
 - 5)最優秀賞の審査結果は、ホームページに発表する。(12月中旬)
 - 6)主催者は報告・結果に基づいて表彰状を授与する。
 - [全国製図コンクール]
 - 1)主催者は令和5年12月中旬までに、先に定めた最優秀作品の中から最優秀特別賞を審査する。審査の結果は、ホームページおよび機関誌「工業教育」1月号に発表する。
 - 2)全国製図コンクールの表彰は、主催者賞として、最優秀特別賞(表彰状・副賞)を授与する。産業教育振興中央会の表彰に該当する作品がある場合には、産業教育振興中央会に産業教育振興中央会会長賞(最優秀特別賞・表彰状)を申請する。
 - 3)最優秀特別賞は、機械系・電気系を併せて20名以内とする。
 - 4)応募作品は返却しない。
- 5 対 象：本協会会員校の生徒とする。
- 6 課 題：令和5年度(第40回)全国製図コンクール課題(機械系、電気系)による。
- 7 応募方法：
 - 1)ホームページより、Web上でエントリーする。(期間：令和5年9月1日(金)～9月30日(土))
 - 2)校内審査の結果をWeb上で報告する。また、最優秀作品1点(厳守)を主催者に送付する(送料各校負担)。(報告・提出締切：令和5年10月31日(火))
 - ※8月上旬に当協会ホームページにWeb上の操作についてマニュアルを掲載します。
 - ※作品の送付は受付整理の都合上、平板挟みでお願いします。
- 8 実施要項・課題
 - 1)令和5年度(第40回)全国製図コンクール実施要項
 - 2)全国製図コンクール課題(機械系・電気系) 各2枚1組

【XⅣ】第21回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会実施要項

- 1 目 的：現代の工業技術の進展に伴い、これからは技術的課題を改善するだけでなく、身に付けた知識、技術及び技能を活用して、ものづくりができる創造的な能力と実践的な態度の育成が求

められている。本事業を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な態度を育てる。

- 2 主 催：公益社団法人 全国工業高等学校長協会
- 3 後 援：文部科学省、厚生労働省、経済産業省、特許庁（いずれも申請予定）
- 4 応募日程：募集期間 令和5年11月1日(水)～令和5年12月26日(木)必着
- 5 応募資格：全工協会会員校の生徒（個人、グループのいずれでも可）
- 6 発 表：令和6年1月25日（木）
該当校に連絡の上、全工協会ホームページにて発表する。
- 7 表 彰 部活動部門、課題研究部門としてそれぞれに
(1)最優秀賞(1点)、優秀賞(1点)、理事長特別賞（1点）・・・賞状・副賞を授与する。
(2)佳作・・・賞状を授与する。
(3)賞状・副賞等は後日発送する。
(4)上記(1)の入賞者には、以下の副賞（奨励金）を授与する。
最優秀賞・・・7万円、優秀賞・・・4万円、理事長特別賞・・・2万円
- 8 特 典：入賞作品はジュニアマイスター顕彰制度の得点になる。ただし、グループで入賞した場合は5名以内が申請の対象となる。
- 9 応募方法：以下の2点を募集期間中に全工協会へ送付する。
(1)応募書類
①応募書類は協会ホームページよりダウンロードし、内容は4ページ以内に収めること。
②作品を研究、製作するにあたり、先行事例や参考・引用するような文献があった場合は、先行事例名、参考文献、引用文献、出典を明らかにすること。（例：インターネット等からの引用の場合、HPアドレス等）
③チェックシートを提出すること。（チェック項目を確認しレ点をつけること）
④グループで応募の場合は【別紙1】を添付する。
(2)動画（記憶媒体はCD、DVD、USBメモリー）
・ファイル形式はMPEGとし、ファイルサイズは200MBまでとする。
・時間は1分以内に収め、目的・原理・機能・動作・セールスポイントを必ず含める。
・ファイルの形式やサイズ、動画時間が指定外の場合は対象外とする。
- 10 審 査 (1)外部審査員を含む審査委員会による。
(2)従来にない新しいアイデアが盛り込まれているもの。
(商品化、特許認定等がなされていない)
(3)工業製品を原則とする。（理論、方法など実体の無いものは不可）
(4)工業製品の部品でもよい。（例 自動車のバックミラー、ドアの鍵など）
(5)試作品が完成していること。
(6)最近の作品であること。（過去1年以内に開発したものを原則とし、未発表のものとする）
(7)継続して同じ作品を改良型で出品された場合は、どのような点が改良され、どのような新規性を持たせたのか。
- 11 その他 (1)入賞者への賞状の記名は複数の場合、グループ名又は代表生徒5名までとする。
(2)募集期間後の応募書類、参加者の変更はできないので留意する。
(3)応募の際に知り得た個人情報、本大会に関わる事以外には使用しない。
- 12 応募及び問い合わせ先：公益社団法人全国工業高等学校長協会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1
TEL 03-3261-1500 FAX 03-3261-2635

【XV】ジャパンマイコンカーラリー全国大会実施要項（案）

- 1 目 的：マイコンカーラリー競技を通してメカトロ技術の基礎・基本の習得、自発的・創造的な学習態度の育成を図るとともに、ものづくりによる課題解決型教育を推進し、新技術への夢を育む。
- 2 主 催：公益社団法人 全国工業高等学校長協会
- 3 主 管：北信越地区高等学校工業教育研究会ジャパンマイコンカーラリー実行委員会
- 4 後 援：文部科学省、長野県、松本市、長野県教育委員会、松本市教育委員会（予定）
学校法人片柳学園 東京工科大学 日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校

(公財) 日本自動車教育振興財団 (依頼予定)

- 5 開催日時：令和5年12月27日(水)、28日(木)
- 6 会場：長野県松本文化会館(キッセイ文化ホール)
- 7 大会運営：大会は、ジャパンマイコンカーラリー大会運営規則及び各競技規則に基づき実施される。
- 8 競技方法：
 - (1) Advanced Class、Basic Class
競技は2台並走のタイムレースとし、各々2回の走行のベストタイムによる予選と、成績上位による決勝トーナメントによって行う。決勝トーナメントの台数は、Advanced Classは32台、Basic Classは16台とする。
 - (2) Camera Class
2回の走行のベストタイムにより順位を決定する。
 - (3) その他
詳細は、大会運営規則及び各競技規則によるものとする。
- 9 参加資格：原則として、本協会会員校、または特別支援学校の高等部に在籍し、地区大会において代表権を獲得した者。
- 10 表彰：
 - (1) Advanced Class、Basic Class 個人戦の表彰は次のとおりとする。
優勝から第3位までの個人に賞状と盾またはそれに準ずる物、第4位～第8位までの個人に賞状を授与する。
 - (2) Camera Class 個人戦の表彰は次のとおりとする。
優勝から第3位までの個人に賞状と盾またはそれに準ずる物、第4位の個人に賞状を授与する。
- 11 参加申込：申込期日は、地区ごとに主管校と協議して定める。
- 12 その他：
 - (1) 新型コロナ感染が全国や大阪府において酷くなった場合、急遽開催中止とする場合もある。
その場合、HPへの掲載や各地区代表校に連絡をする。
 - (2) マスクを必ず持参し、競技や整備など競技を行っていない際など必ずマスクを着用すること。
着用しない場合は、出走取消しとする。
 - (3) 感染防止のため、主催者が決めたその他の措置の厳守、主催者(JMCR事務局)の指示に従うこと。
 - (4) マシンは各競技規則に基づき、指定された部品で製作されたものとする。

令和 5 年度 全国工業高等学校長協会 役員 (案)

No.	役員名	氏名	学校名
01	理事長	福田 健 昌	東京都立六郷工科高等学校
02	副理事長	守 屋 文 俊	東京都立中野工科高等学校
03	〃	山 口 直 人	愛知県立愛知総合工科高等学校
04	〃	麻 野 克 己	大阪府立西野田工科高等学校
05	理 事	太 田 潤 一	北海道札幌工業高等学校
06	〃	山 内 義 美	福島県立福島工業高等学校
07	〃	染 谷 明 生	埼玉県立川口工業高等学校
08	〃	草 刈 廣 直	千葉県立千葉工業高等学校
09	〃	池 上 信 幸	東京都立町田工科高等学校
10	〃	大 熊 敬 一	神奈川県立磯子工業高等学校
11	〃	竹 田 直 人	新潟県立新潟工業高等学校
12	〃	中 林 正 樹	鳥取県立鳥取工業高等学校
13	〃	鎌 田 敏 文	徳島県立徳島科学技術高等学校
14	〃	市 川 仁 士	福岡県立福岡工業高等学校
15	〃	北 村 信 一	昭和第一学園高等学校
16	監 事	桑 田 達 也	昭和鉄道高等学校
17	〃	瀧 川 豊 宏	群馬県立高崎工業高等学校
18	〃	菊 島 圭 一	山梨県立甲府工業高等学校

※上記役員は全て非常勤 (現職校長)

令和 5 年度 全国工業高等学校長協会 都道府県私学代表校長一覧(案)

No.	都道府県	氏名	正式学校名	No.	都道府県	氏名	正式学校名
01	北海道	太田 潤一	北海道札幌工業高等学校	25	滋賀	松本 忠和	滋賀県立八幡工業高等学校
02	青森	北城 高広	青森県立弘前工業高等学校	26	京都	須貝 義和	京都府立工業高等学校
03	岩手	瀬戸 和彦	岩手県立盛岡工業高等学校	27	大阪	中井 宏典	大阪府立布施工科高等学校
04	宮城	山中 弘記	宮城県工業高等学校	28	兵庫	岩井 高士	兵庫県立兵庫工業高等学校
05	秋田	佐藤 隆史	秋田県立秋田工業高等学校	29	奈良	長谷川 智	奈良県立奈良朱雀高等学校 奈良商工高等学校
06	山形	高橋 良治	山形県立山形工業高等学校	30	和歌山	藤田 勝範	和歌山県立和歌山工業高等学校
07	福島	山内 義美	福島県立福島工業高等学校	31	鳥取	中林 正樹	鳥取県立鳥取工業高等学校
08	茨城	勝田 滋	茨城県立水戸工業高等学校	32	島根	佐々木雅典	島根県立松江工業高等学校
09	栃木	薄羽 正明	栃木県立宇都宮工業高等学校	33	岡山	文谷 元信	岡山県立岡山工業高等学校
10	群馬	瀧川 豊宏	群馬県立高崎工業高等学校	34	広島	神田 浩二	広島県立広島工業高等学校
11	埼玉	染谷 明生	埼玉県立川口工業高等学校	35	山口	松本 理	山口県立宇部工業高等学校
12	千葉	草刈 廣直	千葉県立千葉工業高等学校	36	徳島	鎌田 敏文	徳島県立徳島科学技術高等学校
13	東京	池上 信幸	東京都立町田工科高等学校	37	香川	猪熊 伸彦	香川県立坂出工業高等学校
14	神奈川	居石 博幸	神奈川県立向の岡工業高等学校	38	愛媛	宮地 洋安	愛媛県立松山工業高等学校
15	山梨	菊島 圭一	山梨県立甲府工業高等学校	39	高知	北村 晋助	高知県立高知工業高等学校
16	新潟	竹田 直人	新潟県立新潟工業高等学校	40	福岡	市川 仁士	福岡県立福岡工業高等学校
17	長野	清水 史明	長野県長野工業高等学校	41	佐賀	原口 哲哉	佐賀県立佐賀工業高等学校
18	富山	篠原俊一郎	富山県立富山工業高等学校	42	長崎	北島 弘明	長崎県立長崎工業高等学校
19	石川	居村 吉記	石川県立工業高等学校	43	熊本	野崎 康司	熊本県立熊本工業高等学校
20	福井	藤枝 徹	福井県立科学技術高等学校	44	大分	佐藤 啓治	大分県立大分工業高等学校
21	静岡	小野 聡	静岡県立科学技術高等学校	45	宮崎	中別府勇治	宮崎県立宮崎工業高等学校
22	愛知	山口 直人	愛知県立愛知総合工科高等学校	46	鹿児島	田中耕一郎	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
23	岐阜	堀 秀樹	岐阜県立岐阜工業高等学校	47	沖縄	喜屋武 勝	沖縄県立沖縄工業高等学校
24	三重	奥山 敦弘	三重県立伊勢工業高等学校	48	私学	北村 信一	昭和第一学園高等学校

令和 5 年度 全国工業高等学校長協会 名誉会員 (案)

都道府県	氏名	学 校 名	在 任	期 間	摘 要
福島	鈴木 康 隆	福島県立福島工業高等学校	代表校長 理 事	R2/4-R5/3 R4/4-R5/3	○名誉会員
群馬	天 田 敏 明	群馬県立高崎工業高等学校	代表校長 監 事 監 事	H31/4-R5/3 H31/4-R2/3 R4/4-R5/3	○名誉会員
埼玉	清 水 雅 己	埼玉県立大宮工業高等学校	代表校長 理 事	R2/4-R5/3 R4/4-R5/3	○名誉会員
神奈川	片 受 健 一	神奈川県立神奈川工業高等学校	代表校長 理 事 理 事 長	H29/4-R2/3 H30/4-R2/3 R2/4-R4/3	○名誉会員
神奈川	宍 戸 健 一	神奈川県立横須賀工業高等学校	代表校長 理 事 副理事長	R2/4-R4/3 R2/4-R4/3 R4/4-R5/3	○名誉会員

名誉会員の推薦

- ①理事・監事は、在職年数×2、都道府県代表校長は、在籍年数×1、合計 5 以上
②理事長・副理事長・事務局長経験者

令和 5 年度 全国工業高等学校長協会 顧問 (案)

顧問氏名

佐 藤 義 雄
長 田 利 彦
豊 田 善 敬
木 暮 守 雄
棟 方 克 夫

顧問の推薦

名誉会員の中から理事長が推薦して理事会で決定する。

令和 5 年度 調査研究部委員会名簿 (案)

調査研究部

部 長	東京都立町田工科高等学校	池上 信幸	042-791-1035
-----	--------------	-------	--------------

調査研究部委員名

学校電話番号

学校経営委員会

委員長	東京都立荒川工科高等学校	坂田 安永	03-3802-1178
副委員長	東京都立墨田工科高等学校	古藤 一弘	03-3631-4928
委 員	東京都立蔵前工科高等学校	釧持 利治	03-3862-4488
委 員	神奈川県立小田原城北工業高等学校	立川 健二	0465-36-0111
委 員	埼玉県立新座総合技術高等学校	佐久間博正	048-478-2111
委 員	千葉県立京葉工業高等学校	大岡 正和	043-251-4197

進路対策委員会

委員長	愛知県立瀬戸工科高等学校	小川 義雄	0561-82-2003
副委員長	静岡県立吉原工業高等学校	渡森 和彦	0545-34-1045
委 員	静岡県立島田工業高等学校	石川 徹	0547-37-4194
委 員	岐阜県立中津川工業高等学校	加藤 昌宏	0573-68-2115
委 員	岐阜県立多治見工業高等学校	中田 卓生	0572-22-2351
委 員	三重県立伊勢工業高等学校	奥山 敦弘	0596-23-2234
委 員	三重県立松阪工業高等学校	村田 武俊	0598-21-5313
委 員	愛知県立愛西工科高等学校	丹後 茂	0567-37-1288

教育課程委員会

委員長	島根県立松江工業高等学校	佐々木雅典	0852-67-2121
副委員長	島根県立出雲工業高等学校	松原 紀夫	0853-21-3131
委 員	島根県立江津工業高等学校	小嶺 和隆	0855-52-2120
委 員	島根県立益田翔陽高等学校	福井 文生	0856-22-0642

入学対策委員会

委員長	神奈川県立小田原城北工業高等学校	立川 健二	0465-36-0111
副委員長	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	樋口 一孝	042-742-6111
委 員	東京都立総合工科高等学校	嶋村 晃	03-3483-0204
委 員	東京都立八王子桑志高等学校	柴崎 聡己	042-663-5970
委 員	東京都立多摩科学技術高等学校	森田 常次	042-381-4164
委 員	埼玉県立久喜工業高等学校	大澤 清	0480-21-0761
委 員	千葉県立東総工業高等学校	君塚 一彦	0479-62-2522

令和5年度 調査研究部 年間活動計画（案）

令和5年度の委員会活動を次のような年間計画で実施を予定します。よろしくお願い申し上げます。

- (1) 令和4年10月から令和5年1月末
各委員会で、質問項目の追加や訂正及び削除を検討する。(事務局提案も含む)
調査内容(アンケート)の調整(不易と流行に対応したもの)。
進路対策委員会から全日制工業科卒業生の離職率調査の報告(1月中旬)

第2回代表校長会議で離職率調査の報告資料を配付する。
- (2) 2月～3月
調査内容(アンケート)の決定(新委員長等への引継準備も含む)。
アンケート内容等を全工協会に報告。
SEにより、入力画面の作成、ソフトのテストを行う。
- (3) 3月末～4月
新委員長, 新委員の選出及び引継。
新委員長名, 新委員長のメールアドレス・新委員名を全工協会事務局に報告。
4月12日(水)ごろ、都道府県の代表校長に、学校経営委員会と入学対策委員会の調査内容について、メールおよびプリントアウトしたものを送付し、事前に教育委員会に依頼できるようにする。
- (4) 5月2日(火)調査依頼文を会員学校に送付する。

5月8日(月)～ 悉皆調査・代表校長調査を開始する。 全工協会のホームページから入力。
- (5) 6月9日(金)
会員校からの回答(入力)締め切り日。 未入力校には、協力要請の催促連絡をする。
よって、最終締め切り日を6月23日(金)とする。
- (6) 7月上旬
調査回答データを各委員長に該当する資料を印刷して送付する。
委員長には、電子データも送信する。委員長は、各委員に連絡する。
- (7) 7月上旬～8月21日(月)
各委員会を開催し調査結果の整理検討、まとめを行う。
「8月25日(金)までに、冊子製本用「報告書原稿(電子データ)を事務局に提出」。
すぐに印刷発注を実施する。
- (8) 9月上旬～
初稿・再校の校正は各委員長に依頼。
発表冊子(調査研究報告書)の、校正、印刷完了(約1ヶ月間)
10月上旬
秋季研究協議会開催地事務局(四国地区・高知県)へ調査研究報告書(冊子)発送。
- (9) 9月下旬～10月上旬
調査研究部委員長・研究協議会(企画会議)、9月29日(金)を予定。
- (10) 10月～11月にかけて、進路対策委員会で全日制工業科卒業生の離職率調査を開始する。
- (11) 令和5年10月19日(木)～20日(金)
第71回 秋季研究協議会(四国地区・高知県担当)で発表。

木材加工

化学分析

自動車整備

電気工事

旋盤作業	：福岡職業能力開発促進センター (ポリテクセンター福岡)
自動車整備	：大原自動車工科大学校
電気工事	：佐賀県立鳥栖工業高等学校
電子回路組立	：福岡県立小倉工業高等学校
化学分析	：熊本県立熊本工業高等学校
木材加工	：大村市中地区公民館
測量	：熊本県立熊本工業高等学校
溶接 (公開競技)	：愛知県立愛知総合工科高等学校

第23回 高校生ものづくりコンテスト 全国大会

令和5年11月11日(土) 12(日)

主催：公益社団法人 全国工業高等学校長協会
 主管：九州地区工業高等学校長協会

共催：福岡県教育委員会 佐賀県教育委員会
 長崎県教育委員会 熊本県教育委員会
 大分県教育委員会 宮崎県教育委員会
 鹿児島県教育委員会 沖縄県教育委員会
 愛知県教育委員会

後援：文部科学省、経済産業省、厚生労働省、
 国土交通省、農林水産省
 (公財) 産業教育振興中央会
 (公財) 日本自動車教育振興財団
 中央職業能力開発協会
 (一社) 日本溶接協会

測量

溶接

旋盤作業

電子回路組立

ポスター制作：神奈川県立小田原城北工業高等学校 デザイン科 北村 小春



専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典
第33回 全国産業教育フェア福井大会



大会マスコット
はびりゅう
(福井県マスコット)

さんフェア福井2023

■ 発掘せよ!! 産業人の原石、未来の輝石

10 令和5年
/28 土
29 日

会場

福井県生活学習館

メイン会場 開、閉会式、発表他

福井県産業会館

メイン会場 展示、体験、販売他

福井県宮体育館

全国高等学校ロボット競技大会

福井県中小企業産業大学校

全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト

福井県立奥越明成高等学校

全国高校生クッキングコンテスト

全国高校生介護技術コンテスト

福井県織協ビル

全国産業教育振興大会

ポスター原画
福井工業大学附属福井高等学校
進学科進学二類デザイン分野 平木優詩

主催

第33回全国産業教育フェア福井大会実行委員会、文部科学省、福井県、福井県教育委員会、福井市、
福井市教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、福井県産業教育振興会

お問い合わせ

第33回全国産業教育フェア福井大会実行委員会事務局（福井県教育庁高校教育課内）
〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号 TEL0776-20-0570 FAX0776-20-0669



公式HP

全工協会 令和5年度 年間行事予定

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考
	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	
1	土		土	夏季講習会 受付(始)	土		土		火	北信越地区 工業校長会	金	金	日	ロボット相撲 九州地区大会	水	技術・アイデア コンテスト申込開始	金	第440回理事会	月	元日	木		金	土	1
2	日		日		日		日		水	北信越地区 工業校長会	土	土	月	月	木		土	第441回理事会 代表校長研究協議会② 高等学校工業最優秀カファレ	火		金		日	2	
3	月		月		月		月		木	北信越地区 工業校長会	日	日	火	火	金	文化の日	日		水		土		日	3	
4	火		火		火		火		金	北信越地区 工業校長会	月	月	水	水	土		月		木		日		月	4	
5	水		水		水		水		土	北信越地区 工業校長会	火	火	木	木	日		火		金		月		火	5	
6	木		木		木		木		日	北信越地区 工業校長会	水	水	金	金	月		水		土		火		水	6	
7	金		金		金		金		月	北信越地区 工業校長会	木	木	土	土	火		木		日		水	JM顕彰 制度委員会	木	7	
8	土		土		土		土		火	JM顕彰 認定委員会	日	日	水	日	水		金	パソコン検定	月	成人の日	木	JM顕彰 認定委員会	金	8	
9	日		日		日		日		水	JM顕彰 認定委員会	月	月	木	木	木		土	全日本ロボット相撲 全国大会(同国)	火		金	運営連絡協議会②	土	9	
10	月		月		月		月		木	JM顕彰 認定委員会	火	火	金	金	金		日		土		土	運営連絡協議会②	日	10	
11	火		火		火		火		金	JM顕彰 認定委員会	水	水	土	土	土		月		日		日	建国記念日	月	11	
12	水		水		水		水		土	JM顕彰 認定委員会	木	木	日	日	日		火		月		月	振替休日	火	12	
13	木		木		木		木		日	JM顕彰 認定委員会	火	火	月	月	月		水		火		火		水	13	
14	金		金		金		金		月	JM顕彰 認定委員会	水	水	火	火	火		木		水		水		木	14	
15	土		土		土		土		火	JM顕彰 認定委員会	木	木	水	水	水		金		木		木		金	15	
16	日		日		日		日		土	JM顕彰 認定委員会	金	金	木	木	木		土		金		金		土	16	
17	月		月		月		月		日	JM顕彰 認定委員会	土	土	金	金	金		日		土		土		日	17	
18	火		火		火		火		月	JM顕彰 認定委員会	日	日	土	土	土		月		日		日		月	18	
19	水		水		水		水		火	JM顕彰 認定委員会	月	月	日	日	日		火		月		月		火	19	
20	木		木		木		木		水	JM顕彰 認定委員会	火	火	月	月	月		水		火		火		水	書分の日	20
21	金		金		金		金		木	JM顕彰 認定委員会	水	水	火	火	火		木		水		水		木	21	
22	土		土		土		土		金	JM顕彰 認定委員会	木	木	水	水	水		金		木		木		金	22	
23	日		日		日		日		土	JM顕彰 認定委員会	金	金	木	木	木		土		火		金	天皇誕生日	土	23	
24	月		月		月		月		日	JM顕彰 認定委員会	土	土	金	金	金		日		水		土		日	24	
25	火		火		火		火		月	JM顕彰 認定委員会	日	日	土	土	土		月		木		日		月	25	
26	水		水		水		水		火	JM顕彰 認定委員会	月	月	日	日	日		火		金		月		火	26	
27	木		木		木		木		水	JM顕彰 認定委員会	火	火	月	月	月		水		土		火		水	27	
28	金		金		金		金		木	JM顕彰 認定委員会	水	水	火	火	火		木		日		水		木	28	
29	土		土		土		土		金	JM顕彰 認定委員会	木	木	水	水	水		金		月		木		金	29	
30	日		日		日		日		土	JM顕彰 認定委員会	金	金	木	木	木		土		火		土		土	30	
31	月		月		月		月		日	JM顕彰 認定委員会	土	土	金	金	金		日		水		日		日	31	
備考																									

令和5年度 事務局・研究所の各種検定・事業等担当

氏名	職名	検定・工業基礎学カテテスト	事業	協会運営・その他
渡邊 隆	局長		協会事業全般統括	事務局実務全般統括(関係省庁及び対外団体等連絡調整・折衝・事務局運営全般、会館管理)
湯澤 修一	次長	検定・工業基礎学カテテスト統括(工情数・電気)	総会統括、委員会、講習会統括、イベント関係統括(ものづくりコンテスト)、国際化推進事業統括、ロボット人材育成、ジュニアマイスター顕彰等	事務局実務全般(関係省庁及び対外団体等連絡調整・折衝・事務局運営全般、会館管理)、局長補佐
江口 敏彦	次長	検定・工業基礎学カテテスト(建築・繊維)	総会、委員会、講習会、イベント関係統括(ロボット相撲、ジャパンマイコンカーラリー)、ジュニアマイスター顕彰等	事務局実務全般(関係省庁及び対外団体等連絡調整・折衝・事務局運営全般、会館管理)、局長補佐
水野 静佳	総務担当 主任	計算技術検定、リスニング英語検定	総会主任、ジュニアマイスター顕彰、国際化推進事業	総務統括(公益法人事業申請、郵便整理総括(業務は日直)、臨席依頼)
大谷 貴子	主事 (再任用)	情報技術検定、パソコン利用技術検定(問題集)	総会、貸し会議室、全工ノート販売、その他業務補助	総務関係(会員校入退会管理、文書発送補助、検定試験関連)
谷川 裕子	庶務担当 主任	工業基礎学カテテスト	生徒教職員表彰、秋季研究協議会統括	庶務統括(理事会、業務執行理事会、運営連絡協議会顧問会、推進事業費)、総務関係(公印取扱責任者、対外文書関係全般)
中村 和生	ICT担当 主任	検定・工業基礎学カテテストWEB入出力支援	ジュニアマイスター顕彰	情報統括、学校マスタ管理、会員名簿、要覧等
金勝 淳子	主事	基礎製図検定	総会、工業教育指導者養成講習会、全国製図コンクール、人材は工業高校にありプロジェクト	ICTに関わる業務(ホームページ管理)、総務(全校文書発送)
新倉 真由美	経理担当 主任		各事業補助・法人登記・内閣府提出(経理)	経理統括(会費徴収等)
竹野 啓子	主事	グラフィックデザイン検定	総会、各事業補助、法人登記・内閣府提出(経理)	総務関係業務 備品管理、総会参加確認(参加費徴収)検定等保険申請、出張手配
楚山 真理	契約職員	局次長庶務(検定・工業基礎学カテテスト)、パソコン利用技術検定(委員会、前期、後期)	局次長庶務関係(国際化推進事業、ジャパンマイコンカーラリー、ものづくりコンテスト全国大会委員会)、総会、秋季研究協議会補助、その他業務補助	事務局実務全般(理事会議事録、内閣府提出)、総務関係(会議室管理等)、庶務関係(起案書整理、文書受信簿、新聞連絡)
未定	契約職員	局次長庶務(検定・工業基礎学カテテスト)、機械製図検定	局次長庶務関係(ものづくりコンテスト、ロボット相撲、今後の工業高校のあり方検討委員会)、総会、秋季研究協議会補助、後援名義申請許可、年賀状作成、その他業務補助	事務局実務全般(法人登記)、総務関係(規定見直し)、庶務関係(工業教育編集委員会、賞状管理等、印刷機の保守等)
金内 江津子	嘱託	初級CAD検定	総会、技術・アイディアコンテスト、学科別研究会関係(補助金)、その他業務補助	庶務関係(協会日誌、消耗品等の物品発注、全工資料リスト、工業教育誌発送、廃棄物関連、郵便整理補助)
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から、初級CAD検定、技術・アイディアコンテスト等 → 金内さん担当、ロボットアメリカンフットボール全国大会は廃止 ・令和4年度から、ジュニアマイスター顕彰の賞状作成業務は外注 ・令和5年度は、評価手法委員会が廃止 → 令和5年度は、内閣府監査予定のため全員体制(各担当毎) 				
國馬 隆史	主任研究員		工業教育指導者養成講習会、付属研究所事業報告・事業計画案作成、機関誌「工業教育」編集委員会・原稿執筆依頼、夏季講習会企画・企業開拓、工業科目履修状況調査、工業基礎学カテテスト(土木)、その他	工業科目履修状況調査、工業基礎学力
矢野 健一	主任研究員		工業教育指導者養成講習会・4委員会のデータ収集と冊子製作、学科別研究会・9地区(補助金配付、収支報告書の回収)、調査研究報告書の作成、付属研究所事業報告・事業計画案作成、機関誌「工業教育」編集委員会・原稿執筆依頼、夏季講習会企画・企業開拓、工業科目履修状況調査、要覧作成、国家資格取得状況調査、就職内定状況調査、工業基礎学カテテスト(工学情報理、化学、デザイン)、高校生技術・アイディアコンテスト、その他	調査研究報告書の作成、付属研究所事業報告・事業計画案作成
稲葉 保	主任研究員		工業教育指導者養成講習会・4委員会のデータ収集と冊子製作、学科別研究会・9地区(補助金配付、収支報告書の回収)、調査研究報告書の作成、付属研究所事業報告・事業計画案作成、夏季講習会企画・企業開拓、要覧作成、国家資格取得状況調査、理工科系大学推薦入学進学状況調査、就職内定状況調査、工業基礎学カテテスト(機械、設備、材料)	「人材は工業高校にあり」パンフレットの作成、工業基礎学カテテスト(機械、設備、材料)
後藤 博史	嘱託研究員		工業教育指導者養成講習会・4委員会のデータ収集と冊子製作、学科別研究会・9地区(補助金配付、収支報告書の回収)、調査研究報告書の作成、付属研究所事業報告・事業計画案作成、機関誌「工業教育」編集委員会・原稿執筆依頼、夏季講習会企画・企業開拓、工業科目履修状況調査、要覧作成、国家資格取得状況調査、就職内定状況調査、工業基礎学カテテスト(その他)	調査研究報告書の作成、要覧作成、国家資格取得状況調査、就職内定状況調査、工業基礎学カテテスト(その他)